

遠くを眺めて

庭に興味を覚えたのは40歳過ぎだと思います。直接的に庭に興味を覚えたわけではありません。実家が山中にあり、寝転んで対面の山を見るのが妙に気に入ったためです。(その風景も今では高速道路が通ったためあまりリラックスできる風景とは思っていませんが、同じようなことですが、最近では携帯電話の中継塔ができることにより、私が勝手に楽しんでいた風景が随分台無しになったと思う場合があります。)

特に、出雲地方の庭園に特別の思いが湧いたわけではありません。が、いわゆる立派な庭園があると聞けば適当に見学に行きました。

少し前の流行に古民家があったと思います。山陰地方でも旧家の邸宅が結構一般公開されました。一般公開には、有名、無名にかかわらず、その邸宅の庭園も同時に公開されますのでこのような機会にもぼんやりと見ていました。庭園についての知識もまったくなしに。

こんな私は、遠くの山をみてリラックスするほうが庭園を眺めることよりお気に入りであることを気づきました。すべての庭に対してではないのですが、何となく庭は画一的と感じる場合があります。

余談ですが、最近、だれそれのお墓がどこにあり、どのような墓石のスタイルであるか、そして埋葬されている人についてどのように標記されているかについて新聞に書いてあります。住居(庭を含む)や墓のような人間の生活と関連深い項目全般について考えることが流行なのでしょうか。ある程度生活レベル以上となった現在では、これらをトータルあるレベル以上に考える時期にきているのでしょうか。

また、日本の庭園に対してガーデニングがあります。ガーデニングも一時流行しました。否、流行が終わり定着したのでしょうか。テレビのガーデニング番組を見ているとヨーロッパの宮殿では何かと規則めいたものがあるようですが、遠く離れた日本の一般家庭では、「好きなようにやればよい」との考えが一般的な気がします。

私には、庭園等のこれらのことが頭の中に混在しておりました。

興味をそそられる拝観謝絶

さて、このたび、拝観謝絶の鱒淵寺本坊の庭園等が見られるとのが庭園研究会のプログラムにあり、急きょ参加させていただきました。あいにく、当日は午後から予定があり午前中の鱒淵寺、一畑寺のみの参加でした。

鱒淵寺本坊庭園は初めはそんなにすばらしい庭園とは感じませんでした。説明を聞き、後ろの山が以前はずっと大きかったこと、遠くに滝が見えたことを聞き、そのスケールの大きさを感じ、ん百年前を創造しました。

一畑寺の庭園も宍道湖と大山が見える雄大な庭園でした。しかし、とても個人所有は不可能な庭園です。その後の昼食会で、同席の方から、松平氏から茶の湯が地方の有力者に広まり、それとともに出雲流庭園も広まったという内容だったと思いますが（本当にそうであったかは自信がありません）なるほどと思いました。私には、茶室や庭園はとても手の届かないものであることをさらに実感しました。

初めての庭園勉強

後日見学会の幹事さんから出雲流庭園に関する資料をいただきました。それまでこのような文献を調査、研究をしたこともありません。ただ、時間の都合がつけられないこともあり、文献も斜めに読んだ程度ですが、非常に荒っぽい不正確な理解でしょうが、私の感覚では出雲流の庭園とは糸原氏や豪農屋敷の江角氏の庭園がスタンダードでないかと思いました。

余談ですが、どなたから聞いたか忘れましたが、沓脱石は自然石ではなく長方形加工し、できる限りその面を滑らかに加工したものが良いとされたということを聞きました。これは加工を施すことが経済力を示すことになるからでしょうか。これが本当なら、大きな短冊石もなんとなく理解できる気がします。また、大きな組石もこのような意味でもまた理解できるのではと思います。クレーンや研磨機械のなかった時代にはわかる気がします。古民家で大きな梁材も同じ意味があるかもしれません。私にそのような経済力がないのは残念です。

私の小さな庭

話は変わりますが、最近私はアパートから小さい家に移りました。このような私は、ささやかな希望として、駐車場の横に『おいしい生垣』を作ろうとしています。生垣ですから敷地と道路を区別し敷地内の通行を遠慮していただくことが主目的ですが、後ろの公園に行く人と会話ができたらよいな—と思い、夏芽、姫りんご、金柑、グミの木を植え、この間にベリー類を最近植え始めました。通る人が多少自分の口に運ぶのはかまわないとし、落ち葉を拾い集め掃除をし、近隣の方や通行人の方と楽しくできればと思っています。あるとき、突然フェンスとすることがないようがんばらねば。

小さな庭からの妄想

さて、話はさらにさらに飛躍しますが、公共事業の道路でもこのような試みは出来ないでしょうか。私の思うキーワードは

- ・おいしい歩道
- ・ミニミニ道の駅

- ・ 交流やふれあいのある道路
- ・ 木陰歩道
- ・ 木陰駐車場
- ・ 農林海産物の販売と清掃
- ・ 落ち葉でできた腐葉土のサービス
- ・ サイクリング
- ・ 観光客の誘致
- ・ 暖かい飲み物（冬）、冷たいアイス（冬）
- ・ タダでどこからでも乗れるバス

今度はキー文書に見ましよう。

直線、円弧、クロソイドによる道路でなく割りで見通しが悪く先が気になる道路

四季を通じて楽しく遊べる道路、地元の人が特産物、加工の販売ができる道路

恋愛がはぐくまれる道路

休んで運動して食べてしゃべる道路

焚き火をし焼き芋が食べられる道路

たくましく創造力でつなげた道路が JR 出雲市駅から出雲大社の間でできたら楽しくないですか。新年初夢のような話ですが、実現不可能ではないでしょう。想像力をたくましくして、皆で協力し新しい公共事業を作れたらいいなと思いました。

以上

